

一九一四年頃から以後、米國のターマンやヤーキス、英國のバートなどの周到なる實驗の結果、正確なるスケールは、この通過率を唯一の基礎となすべきものでないことが明かにされた。其の理由は、ビネー尺度の研究に最も忠實であると考へらるゝターマンが一九一四年から一九一五年にかけて無選擇一千名の實驗結果から、このことを詳しく説明して居る。

これは既に二十年も過去のことであつて今日では、ビネースケール創案當時の如き考へ方のみでは、正しい年齢標準を設定することが困難であることは周知の事柄であると思ふ。

然し私の經驗に依ると、今尙「ビネースケール」といへば、各問題を單に各年齢に實驗した通過率で、これを基礎として、尺度が出来るものと考へて居る人々があるやうに思ふ。かくいふ私も大正十四年までの實驗に於ては、この通過率を唯一の基礎資料として、年齢標準を發見しやうと企てたが、これのみでは不可能であることを實驗的に體驗した。

通過率の重要性 然しながら、それが爲めに、この通過率の研究が無用の長物になつたわけではない。「ビネー式スケール」の正しい修正には、缺くべからざる重要基礎資料であることには變りはない。

特に私の修正して居るこの組織の智能測定尺度に於ては然りである。然らば、この通過率の實

驗は「本スケール」に對して如何なる重要な役目を演じて居るかといふと、前に述べたる(1)(2)(3)は其の主なるものである。今この(1)(2)(3)を少しく詳しく説明すると、

(1) **問題の選定に對して**——讀者がこゝに掲げて居る一表を通覽さると明かであるやうに、問題に依つては(A)暦年齢の増加と共に極めて徐々に通過率の増加して居るものもあり。又(B)ある年齢に達するまでは殆んど其の増加を見ず、ある年齢に達するときは、急に増加して僅かの年齢期間に於て其の發達の頂に達するやうなものもあり、又(C)ある種の問題は通過率の増加が暦年齢の發達に伴はず時としては、ある部分に於て逆行して居るやうなものもある。

それ等の中、(A)と(B)とは極めて適當な問題であるが(C)の如きは不適當な問題である。

(2) **問題排列の順位決定と其の實的理解に對して**——この表を熟視するときは、問題難易の順位は、必ずしも各年齢に於て正しく一致して居らぬことがわかる。私のこの「スケール」に於ける一般的順位は、表に示した如く總計の通過率を根據として定めて居る。然しこの順位を各年齢の兒童にあてはめて見ると、そこに僅少ではあるが差違がある。中には相當大きな違ひのあるものもある。これ等は尺度内の問題の順位の實質を正確に合理的に理解する上に、且つ又特に、この尺度を實際に運用する人々に缺くべからざる注意點を示すことになる。

(3) 智能年齢目盛り決定上——このことは本書の第六章第七章の目盛り決定の根據の説明に引用したるが如く、本尺度の智能年齢區劃の特異性の上に、且つ又細部に互る智能年齢の目盛りを割りあてる上に極めて重要な資料となつて居るのである。

通過率表 以上の意味から考へて、この通過率の實驗結果は、獨り「スケール」作製上不可缺の資料であるばかりではなく、この「スケール」を以て實際の兒童を測定する實際家の座右に必ずなくてはならぬものともいへる。故に私は、本書の姉妹篇である「實際的智能測定法」中には各問題毎に其の通過率をこの表から引用記載し且つ歐米に於ける他の民族に實驗したるこの種の統計とも比較して置いた。

かやうな重要な意味を持つて居る實驗結果であるから、著者は今日までの報告中に既に幾回か發表して居るものではあるが、本書にも特にこれを附け加へて置くことにした。

問題 順位	問 題	3		4	
		0 中心	半中心	0 中心	半中心
1	指見	95.0		100.0	100.0
2	慣	95.0		100.0	100.0
3	れ性列	45.0		87.5	97.4
4	繪	65.0		87.5	97.4
5	姓	75.0		88.9	97.4
6	形短	50.0		78.8	94.7
7	の文	45.0		87.5	100.0
8	區反	81.3		84.9	85.8
9	銅	18.8		63.3	73.7
10	了	46.7		81.8	84.2
11	方美	13.3		42.4	79.0
12	十三			64.3	76.3
13	二			14.3	29.0
14	三			28.6	60.5
15	三			35.7	68.4
16	四忍	33.3		54.6	44.7
17	用左			25.0	39.5
18	右			32.1	57.9
19	貨			0.0	23.7
20	右			0.0	7.9
21	紙繪			0.0	36.8
22	左			0.0	23.7
23	中			0.0	39.5
24	了			0.0	50.0
				0.0	40.8

各種問題に對し各年齢兒に通過したる兒童數の率

問題 題位	問 題	3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		總 平 均			
		0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中心	半中心	0 中%	半中%		
		1	指 示	95.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2	慣 性	95.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	100.0
3	列 性	45.0		87.5	97.4	101.0	100.0	100.0	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	59.0	99.9
4	繪 列 姓	65.0		87.5	97.4	98.3	98.4	100.0	99.4	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.2	99.7
5	繪 姓	75.0		88.9	97.4	98.3	100.0	100.0	98.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.7	99.7
6	形 區 別	50.0		78.8	94.7	100.0	98.4	100.0	99.8	99.7	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.9	99.7
7	短 文 反	45.0		87.5	100.0	98.3	96.1	99.2	99.6	99.7	100.0	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.7	99.7
8	四 了 銅	81.3		84.9	85.8	92.0	92.9	98.4	99.2	100.0	99.7	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.8	99.2
9	解 (一)	18.8		63.3	73.7	88.5	93.7	96.9	99.6	100.0	99.7	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.1	99.1
10	解 (一)	46.7		81.8	84.2	94.3	95.3	98.4	97.7	97.4	99.7	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	98.1	98.9
11	方 形 比 較	13.3		42.4	79.0	88.5	91.3	98.4	99.0	99.0	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.9	98.8
12	美 的 三 命			64.3	76.3	87.4	86.6	89.0	95.2	93.7	98.4	100.0	98.5	98.2	100.0	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.2	97.4
13	三 命			14.3	29.0	51.7	59.1	82.0	92.0	93.7	98.4	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	93.8	94.5
14	三 命			28.6	60.5	79.3	78.7	84.4	86.8	88.4	91.4	98.3	99.0	98.8	100.0	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	83.4	94.0
15	三 命			35.7	68.4	75.9	75.2	89.0	86.4	84.1	91.4	97.1	96.1	98.2	99.2	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	92.6	93.6
16	四 耐 反 唱	33.3		54.6	44.7	51.7	64.6	85.9	87.0	92.1	95.9	100.0	98.0	99.4	99.6	100.0	99.7	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	92.7	93.4
17	四 耐 反 唱			25.0	39.5	67.8	77.2	73.4	85.0	84.4	93.7	97.1	96.1	98.2	100.0	99.7	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	90.7	93.2
18	四 耐 反 唱			32.1	57.9	71.3	73.2	85.2	83.5	82.8	92.4	97.1	94.1	97.6	99.6	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	91.6	92.6
19	四 耐 反 唱			0.0	23.7	44.1	59.8	68.8	85.1	94.0	96.5	98.8	99.0	98.8	100.0	100.0	99.7	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	92.9	92.6
20	四 耐 反 唱			0.0	7.9	25.3	37.8	62.5	87.8	92.1	98.1	100.0	97.6	98.2	97.9	99.4	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	89.9	91.6
21	紐 結 び			0.0	36.8	34.7	64.6	68.0	87.0	91.2	92.5	96.2	88.1	95.8	98.3	97.7	99.2	99.6	99.0	100.0	100.0	100.0	100.0	90.8	91.6
22	紐 結 び			0.0	23.7	57.5	68.5	75.8	81.8	86.8	91.1	94.2	98.0	98.2	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	91.2	91.6
23	紐 結 び			0.0	39.5	63.2	69.3	67.2	73.3	80.8	90.8	93.6	93.2	95.2	97.5	99.4	98.7	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	89.1	89.2
24	紐 結 び			0.0	50.0	56.3	59.1	51.6	71.9	72.8	77.4	89.5	96.1	97.0	97.9	97.2	99.0	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	85.2	87.0
25	紐 結 び			0.0	40.8	58.5	43.7	50.8	64.6	74.2	77.7	86.3	94.9	86.1	98.4	98.0	99.6	99.6	98.7	100.0	100.0	100.0	100.0	84.0	84.4
26	了 解 (三)			0.0	18.4	30.5	41.7	46.9	60.7	66.6	72.9	84.9	92.2	95.8	96.5	97.2	97.9	97.5	98.0	99.4	100.0	100.0	100.0	82.1	81.6
27	了 解 (三)			0.0	2.6	8.5	25.2	34.4	53.1	59.3	77.4	89.5	89.8	95.8	92.8	94.9	96.4	99.2	98.8	100.0	99.3	100.0	100.0	78.8	78.5
28	了 解 (三)			0.0	34.2	34.5	52.8	59.4	49.6	55.3	62.1	81.4	92.2	95.8	94.9	94.9	96.9	99.2	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	79.4	78.2
29	了 解 (三)			0.0	7.9	20.3	29.9	37.5	48.6	43.0	56.1	75.6	84.4	91.1	92.8	91.5	96.6	97.5	97.4	100.0	100.0	100.0	100.0	73.2	74.4
30	了 解 (三)			0.0	13.2	23.7	29.1	27.3	36.6	45.0	53.5	61.1	80.0	87.5	85.2	81.2	92.2	97.1	96.5	99.4	100.0	100.0	100.0	69.7	69.9
31	五 數 反 唱			14.3	13.2	11.9	27.4	32.0	27.7	38.1	61.1	69.8	79.5	88.9	91.5	92.1	96.1	95.4	96.8	100.0	99.3	100.0	100.0	70.2	69.8
32	五 數 反 唱			0.0	0.0	1.7	3.9	4.7	21.9	37.7	68.5	82.0	87.8	97.0	88.2	96.6	96.9	99.6	97.7	98.3	100.0	100.0	100.0	71.0	68.9
33	五 數 反 唱			0.0	0.0	3.4	0.8	3.9	13.2	25.8	58.0	75.0	82.4	93.5	91.5	98.3	95.9	99.6	98.3	99.4	99.3	100.0	100.0	67.6	65.2
34	五 數 反 唱			0.0	0.0	5.1	11.8	14.1	27.1	36.4	41.1	49.4	63.4	71.4	78.1	83.7	83.4	91.9	92.8	99.3	99.3	100.0	100.0	60.1	59.9
35	五 數 反 唱			0.0	2.6	6.8	11.0	14.1	20.5	25.8	33.8	47.7	65.9	79.8	75.6	80.8	87.6	87.5	94.2	97.2	99.3	100.0	100.0	59.2	58.7
36	青 年 類 四			0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	8.9	18.5	49.4	58.1	42.9	82.7	84.3	79.1	89.1	92.9	93.3	100.0	100.0	100.0	100.0	60.7	57.0
37	青 年 類 四			0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.4	5.3	19.7	34.3	62.4	77.4	82.7	81.9	84.7	89.6	93.3	98.3	98.5	100.0	100.0	52.1	52.1
38	青 年 類 四			0.0	2.6	1.7	8.7	5.5	14.3	16.6	26.4	38.4	53.7	64.9	69.3	64.4	78.2	78.4	86.7	97.2	97.0	100.0	100.0	49.8	51.7
39	青 年 類 四			0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	6.0	12.6	28.3	41.3	59.5	69.6	72.7	69.5	76.4	79.3	88.7	93.3	97.0	100.0	100.0	49.7	50.6
40	青 年 類 四			0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	5.0	8.9	27.4	43.6	67.3	75.0	60.5	81.1	77.2	85.2	95.0	97.8	100.0	100.0	100.0	47.7	50.4
41	球 同 八 二 混			0.0	0.0	0.0	10.3	7.0	10.5	11.2	23.6	38.4	42.9	55.4	63.0	61.6	76.4	72.4	87.0	96.7	99.3	100.0	100.0	46.2	48.7
42	球 同 八 二 混			0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	4.8	7.3	13.1	30.8	35.6	58.3	54.3	52.6	61.9	65.6	79.1	92.2	97.8	100.0	100.0	41.3	40.4
43	球 同 八 二 混			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.3	3.8	9.9	22.9	36.3	54.3	55.4	63.5	79.7	77.2	85.9	97.2	100.0	100.0	37.1	36.7
44	球 同 八 二 混			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	3.6	12.4	21.6	37.1	43.5	46.2	50.3	60.6	65.6	69.1	85.5	84.4	100.0	100.0	36.6	36.3
45	球 同 八 二 混			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	1.0	1.7	12.5	20.8	22.7	30.5	50.3	54.8	63.6	71.7	90.4	100.0	100.0	24.8	27.4
46	六 不 了 球 五			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	4.0	7.3	6.0	16.1												

年齢	性別	身長	体重	頭圍	胸圍	腕圍	足圍	握力	歩行速度	歩行距離	歩行時間	歩行回数	歩行リズム	歩行姿勢	歩行速度	歩行距離	歩行時間	歩行回数	歩行リズム	歩行姿勢
5歳	男	100	18	48	55	13	18	10	1.0	100	10	10	1.0	1.0	100	10	10	1.0	1.0	
5歳	女	95	16	46	52	12	17	9	0.9	90	9	9	0.9	0.9	90	9	9	0.9	0.9	
6歳	男	110	22	52	60	15	22	12	1.2	120	12	12	1.2	1.2	120	12	12	1.2	1.2	
6歳	女	105	20	50	58	14	20	11	1.1	110	11	11	1.1	1.1	110	11	11	1.1	1.1	

表の説明 各年齢中「○中心」又は「半中心」とあるのは、

例へば六歳についていふと

○中心は 五歳十ヶ月から、六歳二ヶ月に互る児童を含み、其の中心年齢が六歳〇ヶ月である。

半中心は 六歳三ヶ月から、六歳九ヶ月に互る児童を含み、其の中心年齢が六歳六ヶ月である。

だから、この統計表では、児童の半ケ年毎の発達を見ることが出来るやうになつて居る。外國に於けるこの種の統計には、かくの如く細かく發達の階段に分けないで、一ケ年毎に纏めて居る。然るに私がこれを半ケ年毎に別けた其の理由の(一)は、ビネー(佛)ボーベルタツハ(獨)ゴツタード(米)ターマン(米)等多くの人は、年齢の標準を定めるのに、その年齢の基準を満月即ち誕生月中心前後二ヶ月内の児童を採用して居る。英國のバートは、私の所謂半中心が各年齢の基準となつて居る。故にこれ等歐米の權威ある統計と嚴密に比較するのに便利な爲め、(二)は児童の半ケ年毎に其の発達を見ることも興味あることと考へたからである。かくの如く同一年齢を二段に別けて各問題に對する發達率を表はしたものは、この統計以外に

外に見當らぬやうである。

今この統計の内容をなして居る被験者の児童數、性質等の大體を簡單に説明することにとするとこれ等は、通過率の信頼に大なる關係があるからである。

(一) 數 被験者としての児童の數は、各年齢を合して三千八百十四人である。今これを年齢別にすると左表の通りである。

3	0	20
	半	0
4	0	33
	半	38
5	0	87
	半	127
6	0	128
	半	484
7	0	302
	半	314
8	0	172
	半	205
9	0	168
	半	260
10	0	177
	半	386
11	0	241
	半	357
12	0	180
	半	135

實驗數の多いといふことは、統計上最も重大なる信用の基礎の一つである。故に多くの學者は相當これに注意して居る。今左にビネーの一九一一年の發表以來、各國の重なる實驗者の児童數の例を擧げて見ると、

△ビネーのバリでの實驗は六歳から十五歳に互る児童であつて、最も多く見積つて、二百七十四人である。(一九一一年)

△獨逸のポールベルタツハがプレスラウの大學で實驗した數は四百三十五人である。(一九一一年)

年)

△米國のゴツダード氏の實驗數は、二千人である。(一九一一年)

△米國のターマン・チャイルド外十數氏の實驗児童數の合計は、二千六十人に達して居る。

(一九一四年までに)

△米國スタンフォード大學の實驗児童數は九百五人である。(一九一五年)

△英國ロンドンのバートの實驗児童數は三千五百人である。(一九二一年版の數字)

數の上から見て、英國のバートと、米國のターマン(スタンフォードを含む)とが、最も多いが、私の實驗は、數に於てこれ等の人々のものを超過して居ることを附記して置く。

標準化實驗をするについては、數が相當多數でなくてはならぬが、其の他児童選擇の上に男女の割合・児童の境遇・選擇・無選擇・年齢への分布等に注意を拂はなければならぬ。

私がこの實驗について、それ等の點に注意を拂つた要點を述べると、

(一) 性 男女は、各年齢を通じて約等分にして居る。

(二) 境遇 三千八百十四人の児童は大阪市に於ける中心部のものもあり、又周圍部のものもあり、教育的にも社會的にも各種の階級に互り一地方や一階級に偏せぬ様出来るだけの注意を拂

つた積りである。

(四) 無選擇を理想とした 眞に理想としての無選擇は、ある比較的完全なりと認められる一地方の全兒童を一人も残さず實驗しなくてはならぬ。併しこの實行は殊に大都市に於ては殆ど不可能と云ふべき難事である。私のこの統計はかゝる意味に於ける眞の無選擇であるとは言へぬが、殆どそれに近き無選擇であることを斷言してよいと思ふ。即ちこの材料中、大阪市の中心部と見做さるべき二つの學校は、その學校に通學して居る兒童の全部を實驗して居り、其の一枚は幼稚園兒童の全部をも包含して居る。周圍部と見做さるべき他の二校は、これ亦殆ど全部の兒童について實驗して居る。以上四校はその通學區域(通學區域は地方的に定まつて居る)に生存する其の年齢時代の兒童の殆ど全部と見做して差支へがない。何となれば義務教育の學校であるから、其の區域内に生存して居る兒童の全部は其の學校に通學して居るからである。唯若干洩れて居るものもあるが、それは極く貧困の爲又は極度の低能或は白痴であつて義務を免除せられて居るもの、其の他事情あつて通學區域外の學校に出て居るもの等であるから、これは極めて少數と見ることが出来る。(但し中心部では極く少數であるが周圍部の學校では幾分數が殖える事は事實である。併し大體から言ふときは極く少數といつてよい)以上四校の兒童が三千八百十人中約八分の五を

占めて居るのである。

其の他の大部分は各學校に於ける學年無選擇である。學年無選擇といふのは、ある學校の某學年全部を檢査した意味である。尙少數はある學校の無選擇の一學級の材料も混じて居る。従つて前述の如く完全に無選擇兒とは言へないのであらうが、大體に於て現存の大阪市兒童を代表する無選擇兒といつて大過はないつもりである。

(五) 年齢 三歳から十四歳に互つて居るが、統計表に表はしたのは三歳から十二歳までに止めた。其の中無選擇兒として最も信頼の出来るものは六歳から十二歳までである。五歳以下の兒童は幼稚園兒童であり、十二歳以上のものは高等小學校兒童である。何れも尋常小學校の如く義務教育でないから前者には發育可良のものが割合に多く、後者は中等學校に入學した残りのものである。従つて六歳乃至十二歳兒の如き意味で無選擇兒と云ふことが出来ない。

測定問題の追加 尙こゝに附記して置くことは、本測定尺度の問題數は、最初六十六問であつた、それで本統計には六十六問になつて居る。

然し昭和三年後の實驗から、特に智能優良者の爲めに四つの問題を追加して七十問とした。故に本書に發表した修正増補版には七十問になつて居る。

今この追加した四つの問題の通過率とこれを舊尺度の如何なる位置に補つたかをこゝに記して置く。

追加した問題は、左の通りである。

(1) ビネーの紙切り問題

この問題はビネーが一九〇八年には十三歳の第一問に、一九一一年の修正には大人試問の第一に移して居る。

ターマンはこの試問を優秀大人の第二問に入れて居る。其の根據は、十四歳以下のものは、合格が困難であり、普通大人の三分の一、優秀大人の大多數が合格するからといつて居る。

バートは十五歳級に入れて居る。氏の通過率實驗では、

十一歳の通過率が	6.6%
十二歳の "	14.7%
十三歳の "	31.7%
十四歳の "	42.1%

となつて居る。

私の大阪での實驗では、

十四歳兒	男	二十人中十六人成功	80.0%
	女	十五人中九人 "	60.0%
平均		25/35 即ち	71.4%

又智能年齢十一歳のものでは殆んど合格者なく、

"	十二歳で	50.0%
"	十四歳で	70.0% に達する。

故に今回の増補には第五十九問とした。

(2) 八數反唱。

この問題はスタンフォードの修正尺度に優秀大人に用ひて居る。

氏の根據は、普通大人の $\frac{1}{3}$ 、優秀大人の $\frac{2}{3}$ 以上合格したといつて居る。

私の實驗では

曆年齢十四歳のものゝ四十人中二人合格。

智能年齢十八歳（新尺度にて）六人中二人合格。

故に新尺度の第六十八問に入れて居る。

(3) 七數逆唱

この問題もスタンフォード修正尺度の優秀大人に用ひたもの、其の根據は普通大人の合格者
少なく、優秀大人の約半數合格といつて居る。

私の實驗では、

暦年齢十四歳のもの四十人中一人合格。

智能年齢十八歳のもの六人中一人合格。

故に第六十九問とした。

(4) 工夫力の問題

この試問もスタンフォードの優秀大人の最後の問題である。

其の根據としては、智能年齢十四歳以下では意義を有しないほど僅少であり、普通大人 $\frac{2}{3}$
は失敗、優秀大人の75%よりいくらか多くは成功したといつて居る。

私の實驗では

暦年齢十四歳中一人合格、他の一人は合格に近かつた。

智能年齢十八歳のもの、六人中一人合格。

故にこれを第七十問とした。

第十六章 本測定尺度に採擇したる問題の出所性質並に問題排列一覽

問題の出所 私のこの智能測定尺度中に採擇して居る七十個の問題の出所は、ビネーが一九〇八年と一九一一年とに残した問題中から四十九と、ターマン其の他の學者が其の後補充したものの中から採擇した二十一間とである。

いづれも二十年乃至三十年の長年月に互り各國の民族に實驗されたものであつて、多數の學者實驗家に依つて試験済みのものである。即ち古くから用ひられて居るものであつて、然も今尙新しく生きて居る問題である。最近智能測定の研究が進むにつれ新しく工夫された問題もあるが、それらは、この尺度中にとり入れて居らぬ。だから一面極く平凡ではあるが、然し堅實なる問題のみともいひ得る。故に大體からいつてビネー問題といつてよい。

問題採擇 然しながらこれ等の問題を我が尺度中に具體化する爲めには、各國に依り言語や境遇が違ふから、其のまゝ用ひることの出來ぬものが多い、それ等の問題は、ビネー其の他の學

者の問題作製の精神を採つて、材料の内容に變化を加へ、我が國民の測定に適する様に改良を加へて居る。中には全く創作と見るべき問題もある。然しながら、言語や境遇に依つて左右されることの少ない性質の問題については、出来る丈、各國の學者に依つて用ひられて居る共通の形のまゝを尊重した。

これ等七十問の詳しい内容は、簡単に述べることが出来ない。それについては、本書の姉妹篇である「**實際的智能測定法**」に詳述して居る。

本書の目的は緒言にいつて居る如く、昭和十一年修正の智能測定尺度の客觀的基礎を明かにするのであつて、測定の方法については、別に前記測定法がある。

然し便宜の爲めこゝにも七十個の問題の目録丈を一覽として掲げて置くことにした。言ふまでもなく測定の方法は、問題の名を見た丈で出来るのではない。各問題の實施については、方法上の條件が、極めて嚴密に一致しなければならぬ。この智能測定尺度を使用する場合には、この「**スケール**」が定めて居る方法上の條件に正しく一致する様に運用しなければ、眞の測定にはならぬのである。

讀者は本智能測定尺度に依つて兒童を測定するゝ場合には必ず、

昭和十一年修正増補の實際的 智能測定法に依つてされる様希望する。

昭和十一年修正増補智能測定尺度の問題

排列一覽

第一問 (二歳—三歳)

身體の部分を指示せしむること

材料—鼻、眼、口、耳

採點—四つの中三つ答が正しければ合格。

第二問 (二歳—三歳)

見慣れたる事物の名を言はしむること。

材料—茶碗、箸、一錢銅貨、下駄、足袋。

採點—五中三正答を得ば合格。

答は必ず名稱を言はねばならぬ。(子供特有の名稱をいつてもよし)

第三問 (二歳—三歳)

性の區別。男の子か女の子か。

採點—兒童の返答の形式は如何様にあらうとも眞に區別を辨へて居ることが判れば合格。

第四問 (二歳—三歳)

繪の中の事物を列舉せしむること。

材料—一、家の繪 二、川の繪 三、新聞を見て居る繪。(拙著智能測定法中の用具使用)

採點—質問又は催促に依つて干渉されずに、自發的に、一枚の繪の中の事物三つを列舉し得れば合格。

第五問 (二歳—三歳)

家の名姓を言はしむること。

採點—氏の名(又は家號でもよろしい)が言へたら合格。

第六問 (二歳—三歳)

形の區別。

材料—○△□等十種の形を畫きたる「カード」と其の十種の形を「カード」中に畫きたるものと同大に切貫き

たる紙片とを用ふ。(拙著智能測定法中の用具にて)

採點—十中七つ正しければ合格。

第七問 (三歳—四歳)

短文の反唱。

(1) 今日ケッはよいお天氣です。

(2) 夏になると暑い。

(3) 犬はよく走ります。

採點—一文章が一度讀んだ後で正しく間違なくいへたならば合格。

第八問 (三歳—四歳)

二線の比較。

材料—長短二線を畫きたる「カード」を用ふ。(拙著智能測定法中の用具にて)

採點—三回とも正しくなくてはならぬ。若し二回丈正しきときは、尙三回遣り直す。而して三回とも正しくば合格。即ち三中三、やり直したときは六中五を合格とする。

第九問 (三歳—四歳)

數の數へ方。

一錢銅貨四個を並べて置いて(接觸して横にならべる)之を數へさす。

採點—必ず指を當て、要求した通りに數へたものを合格とす。

第十問 (三歳—四歳)

了解問題。

材料—(1) お腹なのすいた時には何うしたらよろしいか。

(2) 眠たい時には何うしたらよろしいか。

(3) 寒い時には何うしたらよろしいか。

採點—三つの中二つ正しければ合格。

答の内容は相當の理由さへ附いて居れば何でもよい。

第十一問 (三歳—四歳)

正方形の模寫。

材料—正方形を畫きたる「カード」を用ふ。(拙著智能測定法中の用具使用)

採點—三つ書いた中の最も良いものについて採點す。(ビネーの標準)

第十二問 (三歳—四歳)

美の比較。

材料—別紙三枚の「カード」を用ひる。(拙著智能測定法中の用具使用)

採點—全部正答を合格とす。

第十三問 (四歳—五歳)

十三の銅貨を數へしむること。

材料—十三個の一錢銅貨。

採點—二度の試み中一度成功せば合格。

第十四問 (四歳—五歳)

三つの命令實行。

材料—机は被檢者の席から約五メートル位の距離に、窓は被檢者が容易に閉めることが出来る程度にして置く
採點—三つ共順序通り行はれたら合格。

第十五問 (四歳—五歳)

二つの重りの比較。

材料—一寸立法の三グラム及び十五グラムの小箱を用ふ。

採點—三回試み二回正答を得ば合格。

第十六問 (四歳—五歳)

四つの數を反唱すること。

四 七 三 九

二 八 五 四

七 二 六 一

採點—三列中一列を一度聞いて正しく答へたら合格。

第十七問 (四歳—五歳)

忍耐問題、又は構成問題。

材料—拙者智能測定法中の用具使用。

採點—三度中二度成功せば合格。(一回約一分にて)

第十八問 (四歳—五歳)

用途に依つて定義せしむること。

材料—机、鉛筆、火鉢、電車、馬、人形。

採點—六問中の四問正しくば合格。

第十九問 (四歳—五歳)

手指の數を言はしむること。

材料—(1) 右手の指の數。

(2) 左手の指の數。

(3) 兩手指の數。

採點—三問を皆數へないで速に誤りなく答へたならば合格。

第二十問 (四歳—五歳)

四つの錢の名前を言はしむること。

材料—一錢銅貨、五錢白銅貨、十錢白銅貨、五十錢銀貨。

採點—四つ中三つが正しくば合格。

第二十一問 (五歳—六歳)

紐結びをなさしむること。

材料—手本及び材料は拙著智能測定法中のものにて。

採點—手本に似た二つの輪が出來て、これが一分間以内に結ぶことが出來た時は合格。

第二十二問 (五歳—六歳)

繪の中の遺漏を發見すること。

材料—遺漏のある繪四枚。(拙著智能測定法中各用具使用)

採點—四つの繪の中三つの遺漏の個所を正しく指摘したら合格。(時間一問に付二十五秒以内)

第二十三問 (五歳—六歳)

右と左とを區別せしむること。

材料—(1) 右手 (2) 左耳 (3) 右眼

(4) 左手 (5) 右耳 (6) 左眼

採點—三問中三正答、又は六問中五正答を合格とす。

第二十四問 (五歳—六歳)

了解問題(其の二)

材料—(イ) 若しも貴方が學校へ出かける時に雨が降つて居たらどうしますか。

(ロ) 若しも貴方の家が火事で燃えて居るのを見付いたらどうしますか。

(ハ) 若しも貴方がどこかへ行かうとして電車に乗り後れたらどうしますか。

採點—三つ中二つ正しき時は合格。

正答の内容は相當理由あればよし。

第二十五問 (六歳—七歳)

色の名を言はしむること。

材料—赤、黄、青、緑。(拙著智能測定法中の色紙を使用す)

採點—全部いふときは合格。

青を空色、水色、緑を草色といつても許す。

第二十六問 (六歳—七歳)

了解問題 (其の三)

材料—(イ)「若し貴方が何か人の物を壊した時には貴方はどうしますか」

(ロ)「若し貴方が學校に行く途中で、遅刻するかも知れないと氣が付いた時には貴方はどうしますか」

(ハ)「若し貴方のお友達が、うっかりして貴方の足をふんだ時には貴方はどうしますか」

採點—三つの中二つ正答を得れば合格。

第二十七問 (六歳—七歳)

菱形を模寫せしむること。

材料—拙著智能測定法中の「カード」使用。

採點—ビネーの標準。

第二十八問 (六歳—七歳)

文章の反唱。

材料—(イ) 昨日はお休でございました。太郎さんは公園へ遊びに行きました。

(ロ) 明日は運動會です、兄さんは新しい帽子を買つて貰ひました。

(ハ) お母様はお仕事で忙しいです。私は人形と遊びました。

採點—三文章の中少くとも一文章を誤りなく反唱し、又は二文章を各々一語以上の誤りなく反唱したものを合格とする。

第二十九問 (六歳—七歳)

繪の叙述。

材料—繪の「カード」三枚。(拙著智能測定法中の繪を用ふ)

採點—三つの中二つの繪が叙述され又解釋が出来たら合格。

第三十問 (七歳—八歳)

記憶によつて差違を擧げしむること。

材料—(イ) 蠅と蝶とはどう違ひますか。

(ロ) 卵と石とはどう違ひますか。

(ハ) 木の板とガラスとはどう違ひますか。

採點—三つの中二つの眞の相違點が擧げられたら合格。

兩者の差違點は本質的のものでなくともよい。眞實の差違であれば偶然的のものでもよい。

第三十一問 (七歳—八歳)

五つの數字を反唱せしむること。

三・一・七・五・九・

四・二・三・八・五・

九・八・一・七・六・

採點—三列中何れか一列だけ一度聞いて正しく答へたら合格。

第三十二問 (七歳—八歳)

二十より一まで逆に數へしむること。

採點—四十秒以内に數へた時は合格。(誤り一つ丈は許す)

言ひ誤つて自ら訂正したるものは誤りに數へぬ。

第三十三問 (七歳—八歳)

剩錢の計算。

材料—(イ) お菓子を買つて店の人に十錢渡したらお釣を幾ら貰ひますか。

(ロ) 十二錢の物を買つて、店の人に十五錢渡したらお釣を幾ら貰ひますか。

(ハ) 四錢のものを買つて店の人に二十錢渡したらお釣をいくら貰ひますか。

採點—三問中二問正しくば合格。(二問につき十五秒以内)

第三十四問 (七歳—八歳)

五個の重りを列べしむること。

材料—一寸立方の五つの箱(三、六、九、十、二十、五グラムの)

採點—三度中二度正しくば合格。

第三十五問 (八歳—九歳)

用途以上の優秀なる定義を言はしむること。

材料—(イ) 飛行機 (ロ) 虎 (ハ) 學校 (ニ) 兵士(兵隊)

採點—四語中二語が用途以上の定義であれば合格。

第三十六問 (八歳—九歳)

書取。

材料—「山の上に大きな木があります」

採點—書いた文章が明瞭で容易く讀めること、一語も脱けて居らぬこと、を合格の要件とする。文字の誤り

や、漢字で書くべきところを假字で書いたのは誤りとせぬ。

第三十七問 (八歳—九歳)

時日を言はしむること。

材料—(イ) 今日は何曜日ですか。

(ロ) 今月は何月ですか。

(ハ) 今日は何日ですか。

(ニ) 今年は何年ですか。

採點—(イ)(ロ)(ニ)は正しくなければならぬ

合格

(ハ)は其の日の前後三日までは許す…

第三十八問 (八歳—九歳)

類似點を舉げしむること。

材料—(イ) 割木と炭(割木の代りにまき又は柴)

地方の慣用語に従ふこと。

(ロ) 林檎と梨。

(ハ) 鐵と銀。

(ニ) 船と自動車。

採點—四つ中二つに就き、一つ宛の類似點が舉げられたら合格。

○眞實の類似であれば本質的にても皮相的にてもよい。勿論本質的のもの程よろしい。

第三十九問 (八歳—九歳)

四つの數を逆に反唱すること。

材料—六・五・二・八

四・九・三・七

三・六・二・九

採點—三つ中一列が誤りなく逆に反唱されたら合格。

第四十問 (九歳—十歳)

三語を一つの文章中に用ひしむること。

材料—(イ) 子供、球、川。

(ロ) 働、錢、人。

(ハ) 魚、河、海。

採點—三問中二文章よくば合格。

第四十一問 (九歳—十歳)

球搜し。

材料—スタンフォード案に多少修正を加へたるもの、用具及び要領は拙著智能測定法の通り。

採點—目的には充分適合せずとも計畫の了すべきものあらば合格。

第四十二問 (九歳—十歳)

類似の名詞を言はしむる事。

材料—鳥の名。

果物の名。

獸の名。

採點—時間は各問について三十秒間。

- 一、鳥、果物、獸を各々五つ以上をいつた場合には合格。
- 二、若し其の中の一又は二つが五つ以下であつても、合計が十八以上であれば合格。
- 三、重複したるものは數へぬ。
- 四、各々の種類に従屬せざるものが、混入して居る場合にはそれを省いて計算する。
- 五、勿論甚だしき混入は不合格とする。

第四十三問 (十歳—十一歳)

八つの記憶の爲めの讀方。

材料—1昨夜 2十時頃 3大阪市の 4天王寺に 5火事があつた。 6一時間ばかりで 7消えたが
8十七軒焼けてしまつた。 9二階に 10よく眠つて居た 11一人の女の子を 12助けようとして

13一人の消防夫が 14顔に 15火傷をしました。

採點—八つの記憶を含んで居れば合格。

第四十四問 (十歳—十一歳)

記憶によつて圖形を描かしむること。

材料—別紙「カード」(ビネー問題のまゝ、拙著智能測定法中の「カード」)

採點—圖形中一つを正しく、他の一つを半分正しく再現したる以上のものを合格とす。(ビネーの標準)

第四十五問 (十歳—十一歳)

混亂せる文章を整頓せしむること。

材料—(イ) ました、朝早く、われ／＼は、田舎へ、立ち、

(ロ) たのみ、宿題を、私は、ました、先生に、なほして、下さるやうに、

(ハ) 一びきの、守る、犬が、善い、家を、主人の、忠實に、

採點—(イ) 一分 (ロ) 一分半 (ニ) 二分

右の時間内に正しい文章として三問中二問を得ば合格。

第四十六問 (十歳—十一歳)

六つの數字を反唱せしむること。

- (イ) 三・七・四・八・五・九
- (ロ) 五・二・一・七・四・六

採點一二つ中一つが正しければ合格。

第四十七問 (十一歳—十二歳)

不合理—發見。

材料—(イ) 或人が申しました。私は自分の宅から公園に行く一つの道を知つて居る。それは公園までずつと下り坂許りである。そしてその道は宅へ歸るのにもずつと下り坂です。

(ロ) 或汽車の機間手が申しました。私の列車にもつと澤山人の乗る箱がついてあるともつと早く行けると思ひます。」

(ハ) 昨日巡査が一人の娘の死體を發見したが身體が十八に切れ切れになつて居ました。巡査はこの娘は自殺したに違ひないと言ひました。

(ニ) 昨日汽車が衝突しました。然し餘り重大な事ではありませんでした。唯四十八人の人が死んだだけです。

(ホ) 自轉車に乗つた人が道の悪いところで過つて落ちました。そして道傍の大きな石に頭を打ちつけて直ぐ死んでしまひました。側に居つた人々が其の人を病院へ擔ぎ込みました。人々はとても全

快は六ヶ敷からうと言つて居ます。

採點—五つ中四つの不合理を發見せば合格。

第四十八問 (十一歳—十二歳)

了解問題 (第四)

材料—(イ) 若し貴方が餘りよく知らない人のことを、他の誰か「あの人はどんな人であるか」と聞いたら

貴方はどんなに答へたらよいでせうか。

(ロ) 貴方が何か非常に大事な事を企てる(やり始める)前に、貴方はどんな事したらよいでせうか。

(ハ) 吾々は人の善し悪しを判斷するのに、其の人の言葉で判斷せないので、其人の行で判斷します。それはどういふわけでしょう。

採點—三問中二問の正答を得ば合格。

答に適當な理由さへあれば形はどうでもよい。

第四十九問 (十一歳—十二歳)

球搜し (優秀案)

採點—計劃もあり、方法も完全なもの。(拙著智能測定法中の實例に依る)

第五十問 (十一歳—十二歳)

第十六章 本測定尺度に採擇したる問題の出所性質並に問題排列一覽

五つの數字を逆に反唱せしむること。

(イ) 三・一・八・七・九

(ロ) 六・九・四・八・二

(ハ) 五・二・九・六・一

採 點—三回中一回にて合格。

第五十一問 (十一歳—十二歳)

六十語を言はしむること。(三分間に)

採 點—重複したる語を除き、三分間に六十語以上を擧げたるものを合格とす。

第五十二問 (十一歳—十二歳)

歸納試問—原則發見。(スタンフォード案)

採 點—第六問に達した時迄に原則を發見することが出来れば合格。

第五十三問 (十二歳—十三歳)

算術的推理

材 料—(イ) ある銀行の給仕の月給が二十圓で其の中十四圓費ふとすれば三百圓貯めるのに何ヶ月かかるか。

(ロ) 二本の鉛筆の値が五錢とすれば五十錢では何本の鉛筆が買へるか。

(ハ) 白木綿三尺で十五錢とすれば七尺では何程か。

採 點—一問題一分間以内に三問中二問の正答を合格とする。

第五十四問 (十二歳—十三歳)

抽象語を定義せしむること。

材 料—憐れみ、復讐、慈善、羨む、勇氣。

採 點—五語中三語満足すべき定義であれば合格。

△定義は嚴密に論理的なるを要しない。

△又言葉も立派でなくてよい。

△其の語の意味が明かに知れて居ることがわかればよろしい。

第五十五問 (十二歳—十三歳)

類似點を擧げしむること。

材 料—(イ) 蛇 牛 雀

(ロ) 書物 教師 新聞

(ハ) 小刀 銅貨 針金

(ニ) 羊毛 綿 獸皮(ケガハ)

第十六章 本測定尺度に採擇したる問題の出所性質並に問題排列一覽

(ホ) 朝顔 芋 樹木

採 點—五つ中三正答を得ば合格。

第五十六問 (十三歳—十四歳)

閉された箱の問題 (スタンフォード案)

採 點—四中三を規定の時間(三十秒内)に正しく答へたるものを合格とする。

答—(一) 五個、(二) 七個、(三) 十三個、(四) 二十一個。

第五十七問 (十三歳—十四歳)

寓話の解釋。

材 料—(イ) 或る男が田舎道に荷車を馬に牽かせて歩いて居つたら、不意に車の輪が深い窪みへはまり込んだ。

其の男は何もしないで唯車を眺めて居たが、やがて聲高く力の神様に助けを願ひました。力の神様はそこへ御出になつて、この男を見て申されました。「お前の肩を車の輪に當て、そしてその馬を逐ひ立てなさい。」さういつて神様はその男を跡に残して行つて仕舞はれた。

(ロ) 或る乳屋の娘が牛乳桶を頭の上に乗せて歩きながら獨り考へた。「この牛乳の代金で四羽の鶏が買へる。其の四羽の鶏が少くとも百個の卵を生むだらう。其の卵から少くとも七十五羽の雛子が孵へるだらう。其の雛子を賣つたお金で私は新しい着物が買へる。そして今着て居るこのボロ

と着換へませう。」と考へた時に娘は新しい衣服を着た時の様子がどんなだらうと思つて俯いて自分の姿を視た。すると今迄頭に載せて居た牛乳桶が頭から滑り落ちて、牛乳は皆地面にこぼれて了つた。

(ハ) 一羽の鴉が一切の肉を啣へて木の上にとまつて居つた。一匹の狐が之を見て其の肉を取らうと思つて鴉に次のやうに談しかけた。「まあ本當に貴方のお綺麗なさ、貴方の聲は貴方の姿や羽根に劣らぬ程綺麗だと云ふ事を聞いてゐます。それが本當かどうかわかる様に歌を歌つて下さいませんか。」鴉は之を聞いて大變に嬉しがつて歌はうとして口を開いた。そして肉を落した。狐は直ぐ様その肉を食べて仕舞つた。

(ニ) 或百姓が蒔いた種を鴉が食へるので、それを捕へやうと傍罠(ワナ)を掛けて置いた。鴉と一緒に百姓は一羽の鳩を捕へた。鳩は百姓に生命乞をして、「自分は實際種子を盗んだのでない、自分は鴉と全く違つて、そんな悪い鳥でない、それだからどうぞ可愛想と思つて、助けて呉れる様に願つた。然し百姓はそれを聽かないで、「私は泥棒と一緒に前を捕へたのであるから、お前も泥棒と一緒に死なねばならぬ」と言つて、鳩を殺して仕舞つた。

(ホ) 百姓の父子が一匹の小馬を賣らうと思つて二人とも歩いて町へやつて來た。間もなく一人の子供に逢つた。その子供は「あの人は馬鹿だなあ、一人は小馬に乗つて行けるのに」と言つた。

父はこれを聞いて子供を小馬に乗せて自分は歩いて行つた。間もなく又二人連れの男に出遇つた。其の中の一人の男が他の男に向つて「まあ御覽なさい、あの怠け者の子供が自分は馬に乗つて年寄の親を歩かして居る。」これを聞いて今度は自分が馬に乗つて子供を歩かした。又少し行くと五人の女達に出遇つた。其の女達は大きな聲で「お前さんは無精なお爺さんだね、自分丈氣樂に乗つて可愛想に子供を歩かして居るのね」と、これを聞いてお爺さんは息子を自分の傍へ乗せて二人で乗つて行つた。やがて町へ来た、町の人々が言ふのは「これ／＼お前さん方は殘酷な人達だね可愛想にその小さな馬に二人も乗るよりはお前さん方二人で擔いでいつも良い位でないか」お爺さんはそれも尤だと思ひ、二人は飛び降りて小馬の四足を一緒に結んで擔いで歩いた、所が橋を渡らうとした時、小馬が驚いて、はねたので川の中に落ちて馬が死んで仕舞ひました。

採點—各問毎に満足なる答には二點、半ば満足なるものには一點を與へ合計四點を得ば合格。

採點

二點……正しく解釋され且つ教訓が一般的の言葉にて表はされたるもの。

一點……解釋が一般的であるが嚴密には正當でないもの、又は内容は正當にして完全なるも一般化されてないもの。

第五十八問 (十三歳—十四歳)

採點—時計の針を反對にする問題。

材料—(1) 六時二十二分。

(2) 八時八分。

(3) 二時四十六分。

採點—三問中二問が各々二分間以内に左の正確さで解答されたら合格。

時計を見たり、或は時計の文字板を描いて考へさせないこと。

(イ) 四時三十分より四時三十五分の間。

(ロ) 一時四十分より一時四十五分の間。

(ハ) 九時十分より九時十五分の間。

第五十九問 (十四歳—十五歳)

紙切り問題。(ビネー問題)

採點—(1) 折り目正しく表はされること。

(2) 穴の数は二つ。

(3) 穴の位置は二つとも同じ折り目の上にあつて且つ紙の中央と側面との中程にあること。穴の形はど
うでもよい。

第六十問 (十四歳—十五歳)

七數字を反唱せしむること。

材料—二・一・八・三・四・六・九

九・七・二・八・四・七・五

採點—二中一列を合格とす。

第六十一問 (十五歳—十六歳)

六數字を逆に反唱せしむること。

材料—四・七・一・九・五・二

五・八・三・二・九・四

七・五・二・六・三・八

採點—三中一を合格とす。

第六十二問 (十五歳—十六歳)

國王と大統領との差異を擧げしむること。

問題—三つの重なる違ひは權力、年限、襲位の方法であるが三中二つの要素を含んで居れば合格とする。

第六十三問 (十六歳—十七歳)

問題の解釋

材料—(イ) ある一人の男が町はづれの森中を歩いて居つたが突然「ビツクリ」して立ち止つた。その男は、そこから一番近い交番所へ駆け付けて「たつた今木の枝からぶら下つて居るものを見た」と言ひました。……何がぶら下つて居つたのでせうか。

(ロ) あるお医者さんの家の薬局室で二三人の人が何か忙がしうにして居りましたが、其の中の一人が、電話口に走つて、いつも取引をする二軒の薬問屋に急いで電話を掛けて居る。其の言葉はこうであつた。

「こゝ二三日の中私ウチの家から誰か薬を取りに行きませなんだか」

「これからは私の家から誰が薬を取りに参つても渡さずに置いて下さい。注文する時には必らず電話で申します、そしたら貴方の方より持つて来て貰ひたいのです。」

このお医者さんの内では何事が起つたのでせうか。

採點—二問とも論理的に満足すべき答でなくてはならぬ。

第六十四問 (十六歳—十七歳)

想像に依つて三角形を置き換へさすこと。(ピネー問題)

採點—拙著智能測定法を参照。

第六十五問 (十七歳—十八歳)

寓話の解釋。

材料—第五十七問に同じ。

採點—八點以上を合格とす。

第六十六問 (十七歳—十八歳)

思想の要點を反唱せしむること。

材料—人生の價値に關しては多數の異なつた意見が主張されて居る。或る者は之を善であると云ひ、或る者は之を惡であると云ふ。しかし中庸であると云ふのが正當に近いであらう。何故かと云ふと、一方に於て吾々の幸福は決して吾々が願ふ程大でないが、他方に於て吾々の不幸も亦決して吾々の敵が吾々に望むほど大でないからである。

採點—大凡左の意味の反唱(1)(2)共含むものを合格とす。

- (1) 人生の價値についていろ／＼の意見があるが、中庸と見るのが適當であらう。
- (2) 何でかと云へば幸福も不幸もそう極端でないから。

第六十七問 (十八歳—十九歳)

材料—無精と安逸。

進化と革命。

貧困と悲慘。

品性と評判。

採點—四語中三語に對し正しい對照をなす様に意味の相違を明かにしたものを合格とする。

第六十九問 (十八歳—十九歳)

八數字を反唱せしむること。

材料—七二五三四八九六

四九八五七三六二

八三七九五四八三

採點—三列中一列正しく反唱し得たるものを合格とす。

第六十九問 (十九歳—二十歳)

七數を逆に反唱せしむること。

材料—四一六二五九三

三八二六四七五

九四五二八三七

採點—三列中一列の成功を合格とする。

第七十問 (十九歳—二十歳)

工夫力の問題。(スタンフォード案問ひ方に多少修正あり拙著智能測定法)

材料—(1) 三合榊と五合榊にて七合の水を汲ましむ。

(2) 五合榊と七合榊にて八合の水を汲ましむ。

(3) 四合榊と九合榊にて七合の水を汲ましむ。

採點—三問中二問、一問五分間以内に正しく解決したるものを合格とす。

智能測定尺度の客觀的根據 終

昭和十一年九月二十三日 印刷
昭和十一年九月二十八日 發行

智能測定尺度の客觀的根據 附 奥

【錢拾貳圓貳金 價定】

著作權所有



著者 鈴木治太郎

發行者 永田與三郎

印刷者 永田耕作

發行所 東京 東洋圖書株式會社

東京店 東京市神田區神保町一丁目六七番
振替東京一〇三七番・電話神田(25)三七四一
大阪店 大阪市南區內安堂寺町一丁目二八番
振替大阪三九五五六番・電話東(94)二八六八番

大賣捌所

東京 文徳堂・東京堂
大阪 文徳堂・愛知堂
名古屋 川瀬屋・愛知堂
京都 新文館・川瀬屋
神戶 菊竹支店・大坪書堂
久留米 菊竹支店・大坪書堂
福岡 菊竹支店・大坪書堂
佐賀 菊竹支店・大坪書堂
熊本 菊竹支店・大坪書堂
大分 菊竹支店・大坪書堂
宮崎 菊竹支店・大坪書堂
鹿児島 菊竹支店・大坪書堂
鹿兒島 菊竹支店・大坪書堂
那覇 菊竹支店・大坪書堂
東京 文徳堂・東京堂
大阪 文徳堂・愛知堂
名古屋 川瀬屋・愛知堂
京都 新文館・川瀬屋
神戶 菊竹支店・大坪書堂
久留米 菊竹支店・大坪書堂
福岡 菊竹支店・大坪書堂
佐賀 菊竹支店・大坪書堂
熊本 菊竹支店・大坪書堂
大分 菊竹支店・大坪書堂
宮崎 菊竹支店・大坪書堂
鹿児島 菊竹支店・大坪書堂
鹿兒島 菊竹支店・大坪書堂
那覇 菊竹支店・大坪書堂

【士富は山洋東は本】

(刊新最は◎)

版二	版二	版三	版四	版八	版五	版八	版八	版八
東京女高師教授 田中増太郎	理高北松高商教授 時士重	理高北松高商教授 時士重	理高北松高商教授 時士重	理高北松高商教授 時士重	理高北松高商教授 時士重	理高北松高商教授 時士重	理高北松高商教授 時士重	理高北松高商教授 時士重
微分積分綱要	商業數學下卷	商業數學上卷	微積分學下卷	微積分學上卷	座標幾何學	三角法	代數	高等代數
菊三〇・二六〇	菊三〇・一八〇	菊三〇・五〇〇	菊三〇・四〇〇	菊三〇・五〇〇	菊三〇・二〇〇	菊三〇・二〇〇	菊三〇・一五〇	菊三〇・一五〇
一冊分科教科書として簡明に解説す。	確率論に利便を計り、平易に解説す。	網羅的商業の重要事項を、平易に解説す。	4大5師範専攻科高生5工検受者必生2	5大5師範専攻科高生5工検受者必生2	新切題を多し、自習に便す。	内容を省き、高筆者目録を添へ、便す。	著者の権威、全部の協理の府たる仙臺二	著者の権威、全部の協理の府たる仙臺二

我々教育者は東洋圖書さへあれば他社の必要を感じず (滋賀・岡田富美)……讀者の聲

高等程度参考書

高等學術書

●新編權威 各専門的權威者が、生命個々の新研究の力作
●連絡統一 各方面に渉り第一流者が相編して連絡統一す
●教育體験 優秀權威の専門家が教育體験に基かれし著作
●編述親切 本文主副の別、索引、脚註、試題問題等親切
●定價低廉 紙質極上、製本優美且堅牢、而も比較的廉價

【書圖洋東は書育教】

Table listing educational books with columns for author (e.g., 神戶高等商船), title (e.g., 解析幾何綱要), and price (e.g., 菊一・三〇).

貴社の献身的奉仕事業には非常に感謝す (朝鮮・朴英丙)……讀者の聲

【士富は山洋東は本】

Table listing educational books with columns for author (e.g., 神戶高等商船), title (e.g., 材料強弱學), and price (e.g., 菊三・五〇).

貴社發行の圖書より學なる教育が生れる (長野・齋藤芳彦)……讀者の聲

【本は東洋山は富士】

刊新	版五	刊新	版五	刊新	版五	刊新	版五	刊新	版五	刊新	版五	刊新	版五	刊新	版五	刊新	版五
文 吉 田 藤 吉 田 藤 吉 田 藤 吉 田 藤	文 山 崎 犀 二	主 早 稲 田 大 學 事 務 官 恒 一	文 京 帝 大 學 博 士 樹	日 本 大 學 講 師 靖	教 授 文 學 士 小 吉	奈 良 女 高 師 野 學 士 平 次	教 授 文 學 士 野 學 士 平 次	奈 良 女 高 師 野 學 士 平 次	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能
倫 理 學 上 日 本 精 神	公 民 科 新 講	教 育 學 新 講	教 育 學 講 義	新 美 學 概 論	系 譜 精 表	新 書 道 史	支 那 文 學 歷 代 選	支 那 文 學 史	系 統 的 西 洋 教 育 史 (昭和版)	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史
菊 三 〇 二 六〇	菊 三 〇 二 四〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇
現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展

御社發行の圖書は安心して購入出来る (秋田・伊藤完治)……讀者の聲

【書圖洋東は書育教】

刊新	版八	刊新	版四	刊新	版五	刊新	版三十	刊新	版三十	刊新	版五	刊新	版五	刊新	版六
文 吉 田 藤 吉 田 藤 吉 田 藤 吉 田 藤	文 山 崎 犀 二	主 早 稲 田 大 學 事 務 官 恒 一	文 京 帝 大 學 博 士 樹	日 本 大 學 講 師 靖	教 授 文 學 士 小 吉	奈 良 女 高 師 野 學 士 平 次	教 授 文 學 士 野 學 士 平 次	奈 良 女 高 師 野 學 士 平 次	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能	文 學 博 士 義 能
倫 理 學 上 日 本 精 神	公 民 科 新 講	教 育 學 新 講	教 育 學 講 義	新 美 學 概 論	系 譜 精 表	新 書 道 史	支 那 文 學 歷 代 選	支 那 文 學 史	系 統 的 西 洋 教 育 史 (昭和版)	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史	西 洋 倫 理 學 史
菊 三 〇 二 六〇	菊 三 〇 二 四〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 六〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇	菊 三 〇 一 八〇
現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展	現 代 倫 理 學 の 概 論 と 其 の 發 展

貴社の學校行事は吾等の羅針盤なり (大阪・植野豊太郎)……讀者の聲

【書圖洋東は書育教】

東宮女高師校長 吉岡 郷甫	奈良女高師 木枝 文士	奈良女高師 浦守 謹吾	國民作法研究会 千葉 敬止	文部省社會教育官 岡 篤郎	文部省實業補 習教育主事 堀田 萬一郎	文部省實業官 真藤 俊雄	東京音樂學校教授 真藤 俊雄	石澤 吉磨	奈良女高師教授 沙宮 本三郎	京都帝大教授 船越 源一	文部省教育調査部 船越 源一
日本口語法 (昭和版)	高等國文法講義	現代實業作法	日本實業補習教育史	實業補習教育概論	實業道德精義	和聲の實習問題	高等音樂通論	高等家事原論	高等女子法制・經濟學	小學校法規精義	教育部教育調査部
菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇	菊 〇・二六〇
著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書	著者で今日の國語法を實現したる功 不可分の文獻。高等教育の好参考書

教育書は東洋圖書只斯く感ずるのみです (鳥取・八幡斗志伸)……讀者の聲

【士宮は山洋東は本】

奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎	奈良女高師 岩城 準太郎
江戸八大家文	現代文學類選	ア・コレスリ・デーイングス・フォー	最近の歐米國際關係	サイエナル一般理科教育法	サイエナル一般理科教育の實際	サイエナル一般理科教育の實際	サイエナル一般理科教育の實際	サイエナル一般理科教育の實際	サイエナル一般理科教育の實際	サイエナル一般理科教育の實際	サイエナル一般理科教育の實際
紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇	紙色 〇・二六〇
奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書	奈良女高師文科講義に基き精選 された江戸八大家文。代表者 の参考書。小説・劇・和歌・連歌・評論・隨筆を 中心に室町文學の神を窺ふ。選文を 文藝・講演資料の三標準より選り 高女卒業生を高等なる英文讀物の消 鑑賞に導く爲に其基礎知識を興へる良 教科書。女専高女高等科用に最も適 最近五ヶ年の歐米國際關係を詳述す 東京女高師、各大學、高等學校にて使 用。著者は史學界に定評の新進博士 ゼネラルサイエナルの主張を正しく中 學新理科改正要目に基き懇説する。中 「ゼネラルサイエナル」一般理科教育の 實際を示す。混沌として要を得がた きゼネラルサイエナルの最良参考書

貴社發行の教育書を手にして居る時は威力強きを感じ (宮城・新原宗吉)……讀者の聲

【書圖洋東は書育教】

(刊新最は◎)

著者	書名	型	送料	定価	特	備
東京帝大教授 文部省博士 春山博士	現代人の修養と教育	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	一段高所より世間通の博士が實世間に即せしめられた指針の重要問題を悉く解決にの披瀝。現代教育の重要問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	
東京帝大・教育学博士 研究室長 伏見猛	近小學校教育の諸問題	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	東京帝大・教育学博士の研究室長として、近小學校教育の諸問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	
日本國民 高等學校校長 加藤完治	日本農村教育	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	日本國民高等學校校長として、日本農村教育の諸問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	
教育週報社長 爲藤五郎	現代農村の教育	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	教育週報社長として、現代農村の教育の諸問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	
奈良女高師教授 小川正行	郷土の本質と郷土教育	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	奈良女高師教授として、郷土の本質と郷土教育の諸問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	
愛知一師附小主事 眞野常雄	郷土教育の實際的研究	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	愛知一師附小主事として、郷土教育の實際的研究の諸問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	
名古屋市社會 教育主事 石田利作	郷土教育の實際	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	名古屋市社會教育主事として、郷土教育の實際の諸問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	
東京高師教授 文部省委員 阿部七五三吉	作業科原論	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	東京高師教授として、作業科原論の諸問題を詳述。現代教育の真相を重要問題を詳述。	

印刷鮮明、感じ印象一〇〇パーセントなり (美城・飯島巳藏)……讀者の厚

一般教育書

教育教授参考書

●●● 權威ある著者 必読不可の良書

【士富は山洋東は本】

著者	書名	型	送料	定価	特	備
東京女高師教授 兼主事 北澤種一	現代作業教育	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	作業教育の発達史。原理・實際方法。北澤種一先生の全訓導分擔力作。各教科の作業教育の各教科が具體的。各教科の作業教育の各教科が具體的。各教科の作業教育の各教科が具體的。	
東京女高師教授 附屬小學校主事 堀田七蔵	各科作業教育	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	各科の作業教育の各教科が具體的。各教科の作業教育の各教科が具體的。各教科の作業教育の各教科が具體的。	
東京女高師教授 附屬小學校主事 堀田七蔵	作業教育の諸相	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	作業教育の諸相の各教科が具體的。各教科の作業教育の各教科が具體的。各教科の作業教育の各教科が具體的。	
東京女高師教授 附屬小學校主事 堀田七蔵	各科學習の作業化と其方案	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	各科の學習の作業化と其方案の各教科が具體的。各教科の學習の作業化と其方案の各教科が具體的。各教科の學習の作業化と其方案の各教科が具體的。	
東京女高師教授 附屬小學校主事 堀田七蔵	低學年作業主義の諸様式	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	低學年作業主義の諸様式の各教科が具體的。各教科の低學年作業主義の諸様式の各教科が具體的。各教科の低學年作業主義の諸様式の各教科が具體的。	
東京女高師教授 附屬小學校主事 堀田七蔵	尋一の教育	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	尋一の教育の各教科が具體的。各教科の尋一の教育の各教科が具體的。各教科の尋一の教育の各教科が具體的。	
東京女高師教授 附屬小學校主事 堀田七蔵	教育科學原論	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	教育科學原論の各教科が具體的。各教科の教育科學原論の各教科が具體的。各教科の教育科學原論の各教科が具體的。	
東洋大學教授 關寛之	兒童學原論 [増訂版]	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	兒童學原論の各教科が具體的。各教科の兒童學原論の各教科が具體的。各教科の兒童學原論の各教科が具體的。	
九州帝大文科教授 松濤泰巖	學習心理と學習様式	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	學習心理と學習様式の各教科が具體的。各教科の學習心理と學習様式の各教科が具體的。各教科の學習心理と學習様式の各教科が具體的。	
文部省嘱託 大阪市前校長 鈴木治太郎	實験的 智能測定法	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	實験的 智能測定法の各教科が具體的。各教科の實験的 智能測定法の各教科が具體的。各教科の實験的 智能測定法の各教科が具體的。	
久保良博士 本庄精次先生序 守田保	實際的 個性調査法	菊	〇・二六〇	〇・二六〇	實際的 個性調査法の各教科が具體的。各教科の實際的 個性調査法の各教科が具體的。各教科の實際的 個性調査法の各教科が具體的。	

貴社發行の教育書籍は確實にて他店の追隨を許さず (岐阜・片野明)……讀者の厚

九

八

【書圖洋東は書育教】

Table listing educational books with columns for author, title, volume, and publisher. Includes titles like '实际的職業指導法' and '新學科成績考査法'.

雜誌はキング、新聞は朝日、教育書は東洋圖書（群馬・大塚義藏）……讀者の聲

【士富は山洋東は本】

Table listing educational books with columns for author, title, volume, and publisher. Includes titles like '具體的指導要諦' and '映畫教育'.

眞に時勢に適した新しさを有してゐる（北海道・東藤永太郎）……讀者の聲

【書圖洋東は書育教】

版六廿	版七十	版九	版七	版三	版八	版重	版重	版重	版重
東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一
學級經營原論	學校經營原論	學校經營原論	學校經營原論	學校經營原論	學校經營原論	學校經營原論	學校經營原論	學校經營原論	學校經營原論
菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇
東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任	東京女高師の作業者としての職務と責任

御社の良心的出版に敬意を表してゐます (福島・池田勝治)……讀者の聲

【士富は山洋東は本】

版五	版十	版二十	版七十	版四十	版七十	版二十	版八十	版一十	版十八	版六十
東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一	東京女高師 教授兼主事 種一
複式學級經營	高一・二の學級經營	尋六の學級經營	尋五の學級經營	尋四の學級經營	尋三の學級經營	尋二の學級經營	尋一の學級經營	各學年の學級經營	各學年の學級經營	各學年の學級經營
菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇	菊 〇・二八〇
複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的	複式學級經營の意義と目的

御社發行の書籍は常に私達の指針となる (愛知・長田春子)……讀者の聲

【書圖洋東は書育教】

Table listing educational books with columns for author (e.g., 東京高師訓導), title (e.g., 尋一・二の學級經營), publisher (東京高師), and price.

御社の出版物は堅實なる内容を有す (富山・倉谷庄太郎)……讀者の聲

一四

【士宮は山洋東は本】

Table listing educational books with columns for author (e.g., 奈良女高師前訓導), title (e.g., 修身公民參考書), publisher (東京高師), and price.

貴社の圖書は名實共に東洋一なり (福島・長谷川孝平)……讀者の聲

一五

【書圖洋東は書育教】

刊新最	版五	版七	版四	版五	版五	版八	版七	版十	版十	版十二
大阪市教育部長 岡篤郎	奈良女高師訓導 岩瀬六郎	廣島高師前教授 天賀賀辰次郎	奈良女高師教授 中草イネカ	東京高師前訓導 相島龜三郎	東京女高師教授 下田次郎	東京女高師教授 下田次郎	文部省前督學官 松田萬一	奈良女高師訓導 塚野中吉	小川正行	文部省前督學官 文部博士 安土文
高等 小學 修身の公民的研究	實科別 小學校の公民教育	小學校に 於ける 公民教育	寫眞に よる 作法實習記錄 本體の 應	現代國民作法精義	現代 教訓實話集 第二卷	現代 教訓實話集 第一卷	大正昭和 勅語詔書精義	最新式 辭訓話精義	最近訓練原論	我國體觀念の發達
菊 〇・二 六〇	菊 〇・三 五〇	興 〇・二 八〇	菊 〇・〇 五〇	菊 〇・三 八〇	興 〇・三 〇〇	興 〇・二 〇〇	菊 〇・三 五〇	菊 〇・四 八〇	菊 〇・三 八〇	興 〇・三 五〇
具體的問題に要旨は、各項参考資料を掲げ、詳説を要する。高等小學に於ける、修身の公民教育は、焦點の所在を、最新の研究、科別に於ける、効果の如何を示す。本著者は、理論と實踐とを、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。	本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。本書は、各所に於ける、各論の、主眼を、本書に於ける、主要の論點とする。

編輯にして送本敏速なり (東京・佐伯義典)……讀者の聲

欠

【本は東洋山富士】

版七	版十	版六	版八	版八	版十	版五
文部省 社会教育官 千代田 敬止	九州帝國大學教授 小出 滿二	千葉高等農藝學校長 農學博士 松井 謙吉	石澤 吉磨	石澤 吉磨	福永のぶ子	溝上 泰子
高等小 農業教育原論	農業教育	農村並農業教育	農業・商業参考書	家事新指導法 第二學年用	農村の家事教育	私の家事教育
興 〇・二八〇	興 〇・二六〇	興 〇・二五〇	興 〇・二六〇	興 〇・二八〇	興 〇・二六〇	興 〇・二八〇
高等小 農業教育原論 著者 千代田 敬止	農業教育 著者 小出 滿二	農村並農業教育 著者 松井 謙吉	農業・商業参考書 必用不可 著者 石澤 吉磨	家事新指導法 第二學年用 著者 石澤 吉磨	農村の家事教育 著者 福永のぶ子	私の家事教育 著者 溝上 泰子

御社の教育書は安価で内容豊富見事なものです (埼玉・加藤謙吉)……讀者の聲

欠

【本は東洋山は富士】

版十	版八十	版十	版十	版十	版六	版五	版五	版六	版五
附屬幼稚園主事 森川正雄	奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄	成城學校訓導 松本浩記	成城學校訓導 松本浩記	成城學校訓導 松本浩記	關西學院教授 砂川寛榮	奈良女高師校長序 永田與三郎	東京女高師校長序 永田與三郎	二高教授理學士 大石喬一	二高教授理學士 大石喬一
幼稚園の經營	幼稚園の理論及實際	幼稚園參考書	兒童副修身書 卷六	兒童副修身書 卷五	兒童副修身書 卷四	實力學生新學習法	奈良女子高等師範學校 入學案内	東京女子高等師範學校 入學案内	幾何學問題集
四三・八〇 〇・二六	菊 〇・三〇 〇・一八	菊 〇・〇五 〇・〇六	菊 〇・〇五 〇・〇六	菊 〇・〇五 〇・〇六	菊 〇・〇五 〇・〇六	菊 〇・〇五 〇・〇六	菊 〇・〇五 〇・〇六	菊 〇・〇五 〇・〇六	菊 〇・〇五 〇・〇六
配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に	に配當・託兒・保育諸問題等々懇説す。更に

懇切にして廉價なる教育圖書は東洋圖書に限る (秋田・菊池一男)……讀者の聲

【教育書は東洋圖書】

版重	版八廿	版二廿	版四廿	版重	版重	版五	版六	版七十	版七十
高松清水谷 村治	東京高師教授 尾本	東京高師教授 尾本	東京高師教授 尾本	高松清水谷 村治	高松清水谷 村治	高松清水谷 村治	高松清水谷 村治	高松清水谷 村治	高松清水谷 村治
子女物理學講義	現代數講義 補習用	現代數講義 下卷	現代數講義 上卷	簿記指導書 複式簿	簿記指導書 單式簿	商業指導書 下卷	商業指導書 上卷	農業指導書 下卷	農業指導書 上卷
四三・七五 〇・二六	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇	菊 〇・二〇 〇・一〇
現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ	現行女子物理學講義を自ら説き及ぶ

教育書としては確かに出版界に頭角を現す (富山・有本良雄)……讀者の聲

【書圖洋東は書育教】

版四	版十	版十	版八	版十	版八	版四
三浦藤作	久留島武彦	八波則吉	倉橋惣三先生序 内山憲堂	附良女高師教授 森川正雄	附良女高師教授 奈良川正雄	東京女高師 新倉橋惣三
實演學校劇	久留島名話集	高きに登る	家なき幼稚園との実践	幼稚園保育の諸問題	幼稚園保育法真諦	日本幼稚園史
菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇
取材の仕組みに通ずるもの	心の底から	天下の久留島先生	橋本先生の大事業	著者は學理と實際との唯一の研究者	須知書は各府縣指定の最良の参考書	著者は我が國の幼稚園界の先導者

諸君の本位なる御社の出版に敬意を表す (秋田・眞田慶蔵)……讀者の聲

【本は東洋山は富士】

版五	版五	版五	版三	版二十	版四
東尾眞三郎外共著	大坂市長一序	東京市地理教育研究会	文部省前學生課長 松江萬一	文學博士 青木直子	三浦藤作
大大阪物語	大東京物語	思想と自己創造	母より先生へ	經濟の話	實演學校劇
菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇	菊三・二六〇
小中學生を初め通易く	小学校教科書と連絡を	地理的科學の各方面	現代青年の適應する	新社會に適應する	朝日新聞毎日新聞の

貴社の圖書は時勢に適し名實共に出版界に冠たり (徳島・戸村豊)……讀者の聲

43R94

【書圖洋東は書育教】

文部省御認定・著溪會御推獎
兒童讀物之オソリチ

兒童百習資料
兒童百科全書

青島師範學校教授 齊藤梅雄先生著	奈良女高師教授 德田淨先生著	奈良女高師教授 德田淨先生著	奈良女高師教授 木枝増一先生著	奈良女高師教授 桑野久任先生著	奈良女高師教授 桑野久任先生著	奈良女高師教授 神戶伊三郎先生著	奈良女高師教授 神戶伊三郎先生著	奈良女高師教授 神戶伊三郎先生著	奈良女高師教授 神戶伊三郎先生著	奈良女高師教授 神戶伊三郎先生著	奈良女高師教授 神戶伊三郎先生著	奈良女高師教授 神戶伊三郎先生著
兒童の習字(全二冊) (毛筆編)	兒童の作文	兒童の國文學	兒童の生理學(活動編)	兒童の生理學(藥業編)	兒童の礦物學	兒童の昆蟲學	兒童の動物學(鳥類編)	兒童の動物學(獸類編)	兒童の植物學	兒童の植物學	兒童の植物學	兒童の植物學

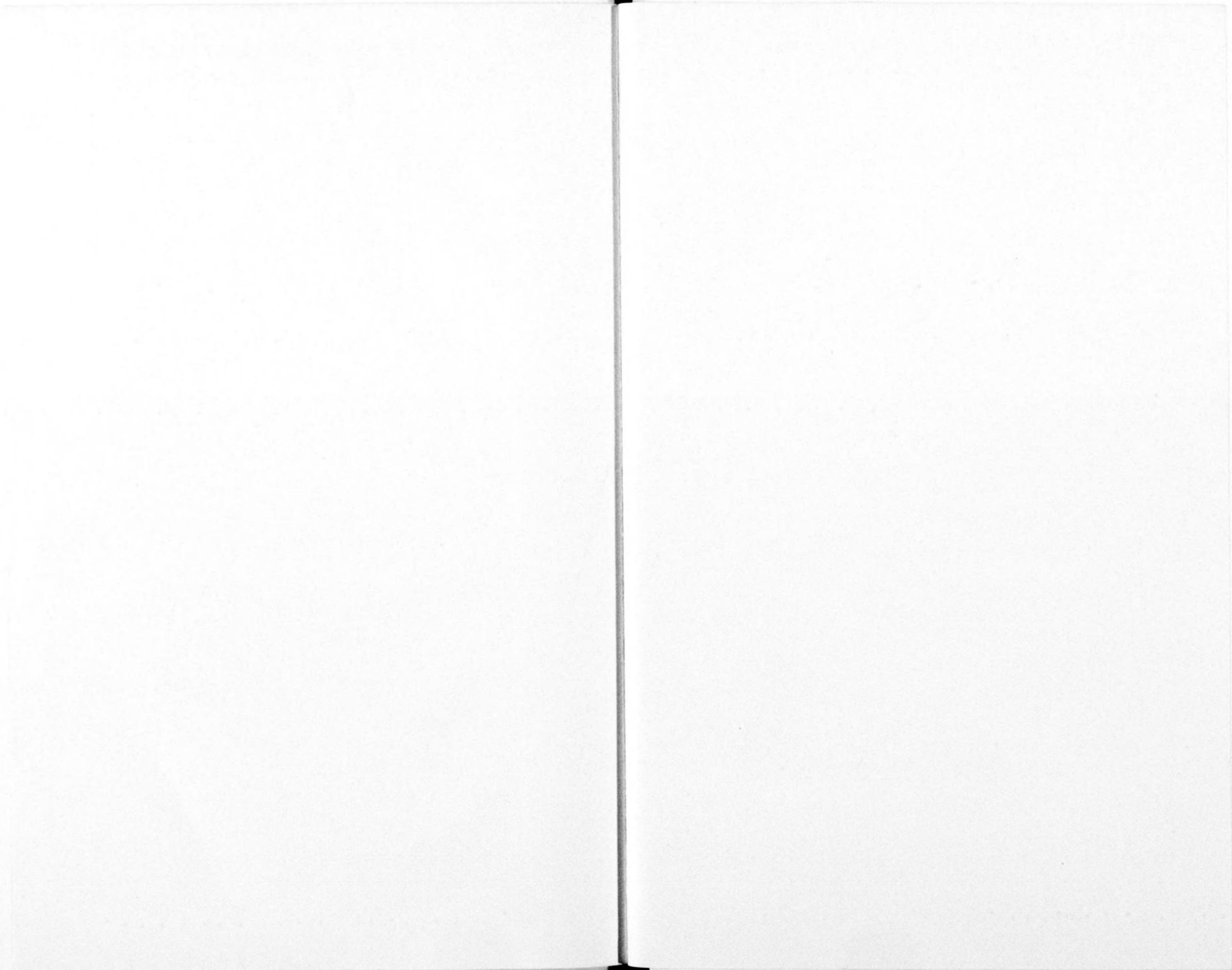
第一冊定價 壹圓八角 錢
 第二冊定價 壹圓二角 錢
 第一期 兒童讀物
 第二期 兒童讀物
 第三期 兒童讀物
 第四期 兒童讀物
 第五期 兒童讀物
 第六期 兒童讀物
 第七期 兒童讀物
 第八期 兒童讀物
 第九期 兒童讀物
 第十期 兒童讀物
 第十一期 兒童讀物
 第十二期 兒童讀物
 第十三期 兒童讀物
 第十四期 兒童讀物
 第十五期 兒童讀物
 第十六期 兒童讀物
 第十七期 兒童讀物
 第十八期 兒童讀物
 第十九期 兒童讀物
 第二十期 兒童讀物

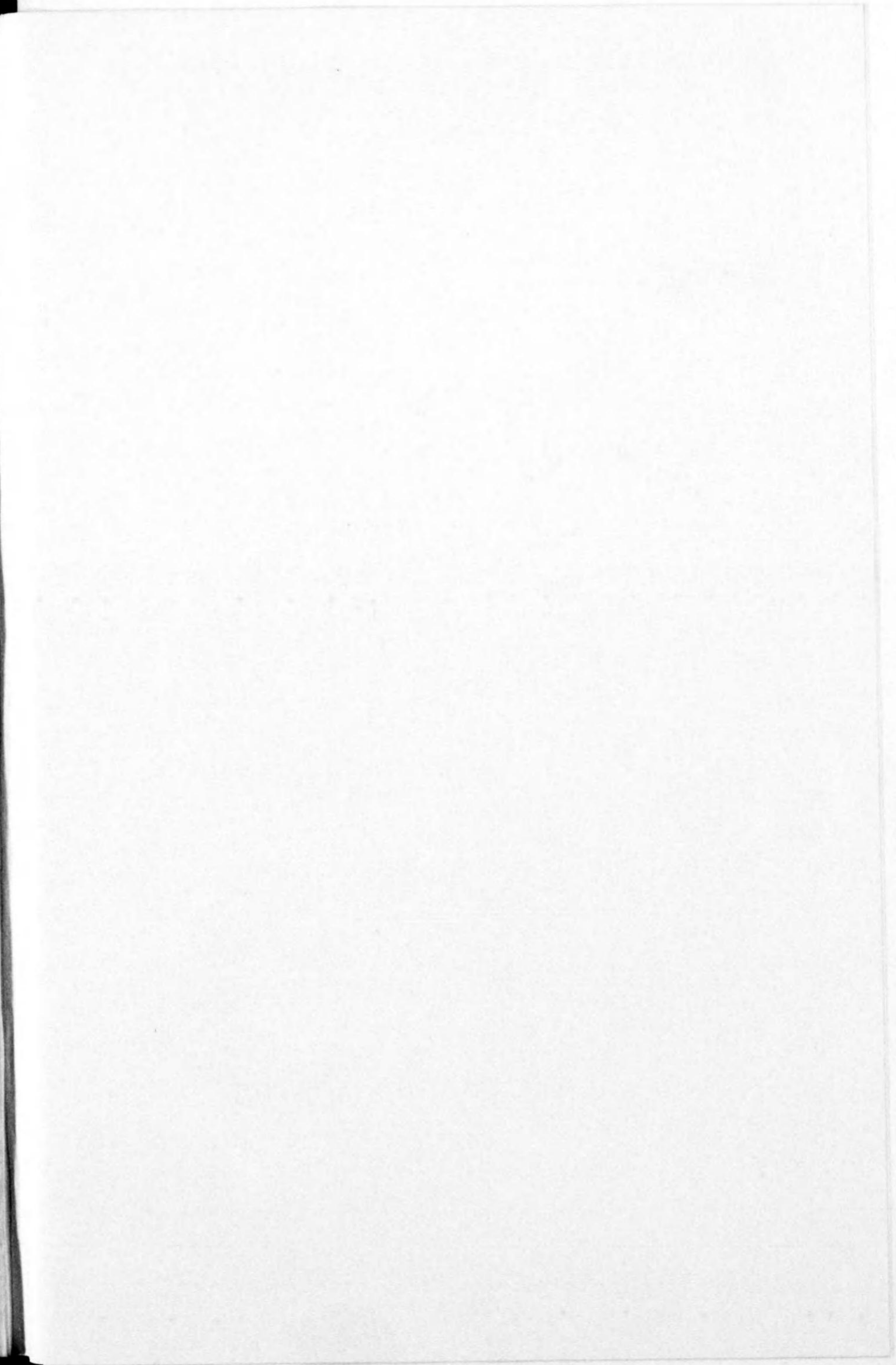
東京洋書株式會社發行

二五冊完成

實社の書物は最良にして細心なり (橋本・星野國三郎)……讀者の聲
 印刷鮮明、紙質上、挿畫豊富、松葉製紙的、製本強固優美、日本一の洋書式

學校を履き得る必領の良書——學校圖書館、兒童文庫、優良兒童の友として責任を以てお勧めし得る良書





終